

# 2024年度 メリー★ポピンズ 蕨北町ルーム 事業計画書

## 1. 基本方針

どろんこ会の保育理念・方針に基づき、「にんげん力」を育てながら“子どもの最善の利益”を第一に保育を実践する。

- ・「学びと実践～Trial & Error～」
- ・「食育環境整備」を目指す。
- ・「子どもの生活力の体得」

- ① 日々の保育では、子どもの成長に合わせた計画の作成と実施を行うが、保育士のスキル向上が伴うよう、学びの充実を図る。大人も子ども同様、主体性を持って行動する。  
小学校進級に向けて、「小学校接続アプローチカリキュラム」を全職員が理解し、子どもの姿をしっかりと捉えた保育計画を作成し、実行していく。職員は、研修などに積極的に参加し、知識を蓄え、将来へのキャリアアップを見据えた目標を設定し実施する。  
また、若手職員の手本となる主任・リーダー格の職員の育成に努める。
- ② 調理士・栄養士だけでなく保育士を含めた全職員で、食育環境を改善していく。コンポストの設置・運用を開始し、魚や肉の解体や食品加工（梅・大豆等）を通して、食材や食の循環に興味関心を持ち、楽しく食する事に繋げていく。
- ③ 近年、子どもの数の減少に伴い、待機児童数も減ってきている中で、全ての子どもが心身ともに健康に育つために必要とされる権利の下、保育所が担うべきものを考えていく。  
10の姿を通して、子ども自らが経験を選択できる物的環境を整備し、子どもの生活力を体得していく。  
また、“保育園”を発信する事で地域へ開かれた園となり、更に保護者や地域の方と共有する事で子どもたちの共育へ繋げていく。

### 〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力の基盤を培う。
	実践予定内容	・日課や基本活動の重要性を理解し、継続できるよう振り返りと改善を繰り返し行う。
2	計画・ねらい	・日々の保育の中で豊かな感性と表現ができるような保育計画を立て、保育内容を充実させる。
	実践予定内容	・子どもの好奇心を沸き立たせられる保育計画を立てる。その為の研鑽を怠らない。
3	計画・ねらい	・子どもの発達援助、生活援助の知識を向上させ、保育の環境構成を充実させる。
	実践予定内容	・環境設定について職員同士が話し合う場を適宜設け、常に「子どもの発達」に合わせた環境を作れるようにする。

4	計画・ねらい	・子どもも大人も主体性のある行動が出来るようになる。
	実践予定内容	・保育スキルの向上を常に意識し、Trial & Errorの精神で積極的に何事にも取り組んでいく。

### 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	個々の保護者とのコミュニケーションをとりながら、その保護者の子育てに寄り添い援助していく。
	実践予定内容	子どもの育ちを共有していくために、子どもにとって大切なことは何かの観点から一緒に考えていく。
2	計画・ねらい	日本での就学を考えている保護者が大半であるため、不安要素を出来るだけ取り除き、学校と連絡を密にしていく。
	実践予定内容	両親・子ども共に外国籍の方が多く、その国の言葉や風習により子育ての考え方に違いがあることを保育者全員で共有する。また、保護者をパートナーとして位置づけながらも、保育者はプロとして「子どもの最善の利益」を第一に個々の家庭に応じた対応策を考えていく。

### 〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域の実情を踏まえ、子育てをしている保護者に対して、保育の専門性を生かした子育て支援を積極的に行う。
	実践予定内容	園で行うスキル講座やイベントの内容が家庭に帰ってからも楽しめるものを計画し、充実したひとときとなるようにし、沢山の方に知って頂けるよう、Zoom等も活用していく。
2	計画・ねらい	保育園が気軽に遊びに来られる場所になるように、出来るだけ園の様子等を、SNS等を利用して地域へ発信していく。
	実践予定内容	ちきんえっぐや園だより等で活動内容を発信し、多くの方に興味を持って来園してもらえるようにする。 どのようにすれば広範囲に広められるかなど、SNS等を良く知る職員を中心に研修を行う。

### 〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	3年後・5年後の自分の姿を想像し、目標を立てる。
	実践予定内容	自身を客観的に見て、足りない部分・課題を見つけ目標を立てる。 目標をいつも見られる場所に貼りだし、自己分析と改善を繰り返し、スキル向上を目指す。 個別面談の実施。
2	計画・ねらい	園内研修の講師を職員が努め、全体のスキルアップを目指す。
	実践予定内容	それぞれが自発的に学びとったものを共有する機会を設け、話し合いを繰り返すことで、学び合い育ち合える集団を目指す。特に、会議やミーティングを活用し、職

		員自らが手を挙げられるようになる。 職員自らが講師となりアウトプットすることで、教える技術の向上や知識や経験の定着と記憶の整理、自己肯定感の向上に繋げる。学びたい意欲を汲み取り、研修を受けやすい環境を作る。
3	計画・ねらい	主任・リーダー格の職員の育成を図る。
	実践予定内容	主任やリーダーに必要な力を身に付け、若手の職員育成が出来るよう、研修や他園研修などを行い研鑽する。

### 〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	生き物の世話を通して、生きることについて考える。 魚や肉の解体だけでなく、様々な体験を通して命を頂く気持ちを忘れず、食する事に興味関心を持つ。
	実践予定内容	どんな生き物でも、環境が良い場所でしか生きられないという事を知らせ、どうすれば良いかを子どもと一緒に考える場を作る。 多くの体験をさせるべく、保育者は計画を練り、下準備を行う。
2	計画・ねらい	給食残渣を計測し、職員全体で園の実情を共有する。残渣を減らすために、子どもたちへ食の大切さを知らせる。
	実践予定内容	結果を踏まえて、今後の残渣を減らしていく為の意見を出し合う。 数値が減るだけでなく、子どもの食に対する興味関心を持たせる為の研鑽を怠らない。

### 〈6〉必要な会議の実施と討議（施設長が力を入れて取り組みたい内容）

1	計画・ねらい	園会議が職員主導で行えるようになる。
	実践予定内容	園に必要な会議を提案、実施し、全員が討議（ディスカッション）できるよう、グループワーク、ロールプレイングなどを行い、職員自ら適切な答えを導き出す。
2	計画・ねらい	ミーティングを昼礼時間に行う事で時間を有効に使い、午後からの保育に繋げていく。
	実践予定内容	職員自らが自主的にミーティングを行い、振り返りと改善を話し合う。 会議内では、必ず一言は意見を言うようにする。 仕事の割り振りをし、誰かが仕事を背負いすぎないように、コミュニケーションを図る。

### 〈7〉職員の自己向上心を上げる（施設長が力を入れて取り組みたい内容）

1	計画・ねらい	職員の目標を明確化し、職員同士が質向上を目指して、進捗を確認していく体制を整える。
	実践予定内容	一人ひとりの目標を立て、お互いがお互いを叱咤激励しあい、目標に向かって一緒に向上できるしくみを作っていく。その為にも、面談を適宜入れ、職員のメンタル

		ケアを行う。
2	計画・ねらい	Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことによって、日々の保育を継続的に改善していく。
	実践予定内容	子どもの興味や発想を大切に、適切なゾーン保育を行い、子どもが主体的に活動できるよう、Trial and Errorを合言葉に、失敗を恐れず、諦めずにやり遂げる。職員の勤務歴とは関係なく、職員同士お互いに学びあう職場となるようにしていく。

## 2. 施設運営

### 〈1〉 施設情報

児童定員

1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
8人	8人	8人	8人	8人	40人

### 〈2〉 開所時間

7時00分～20時00分

### 〈3〉 スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	5人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	0人	補助	1人	栄養士	1人	事務	0人

## 3. 運営方針

### 〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回   20分	保育の振り返り、次月目標設定、ディスカッション グループワーク、園内研修(エピソード研修) 他
給食運営会議	月1回	調理、食事提供の改善案、ディスカッション クッキングの企画、打ち合わせ 他

事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット、インシデント、事故記録簿の検証 他
ケース会議	月1回	個別配慮を要する子どもについて、その対応 他
クラス会議	適宜	指導計画の適正、子どもの発達、援助について 他
各係、担当会議	適宜	業務の見直し、改善、企画 他

## 〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	議題協議、グループ全体の伝達事項、共有事項の周知
施設長勉強会	月1回	保育園の課題を検討しながら、法人・社会全体のスキルアップを図る
食育会議	年4回	課ごとで給食業務改善
保健会議	年4回	課ごとで園児健康管理業務改善
子育ての質を上げる会議	月1回	保育園の課題を検討しながら、子どもの発達を学ぶ機会とし、職員全体のスキルアップを図る

## 〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	保健計画の作成及び振り返り、嘱託医へ健診の依頼連絡、当日の手伝い、検体取りまとめ・投函、書類のチェック・ファイリング、室内・戸外のハザードマップ作成・見直し・変更
安全対策係	毎月の避難訓練計画、消防署へFAX、保護者宛お知らせ、玩具破損チェック、室内外の危険箇所チェック、自主点検表準備、事故防止委員会議事進行
防火管理者	施設の火元の管理、消防計画の作成と届出、防火・消火についての毎月1回の職員訓練を行う
食品衛生責任者	保育園の給食、食育に関する取り組み、給食食材および提供食材の衛生管理と在庫状況の管理 他
畑係	ファミリー菜園の申し込み 年間農業計画の遂行状況の確認や整備、畑の管理
生き物係	飼育全般に対する管理
備品係	備品の整理および管理、発注の取りまとめ

#### 〈4〉行事別系の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	計画、準備の状況確認、作業の振り分け、当日の進行 他
運動会・生活発表会係	計画、準備の状況確認、作業の振り分け、当日の進行 他
入卒園式係	計画、準備の状況確認、作業の振り分け、当日の進行 他
写真・アルバム係	行事ごとの写真の取りまとめ(毎月)、卒園アルバム製作
子育て支援係	地域の方へお知らせの発信、年間予定に基づいた企画、準備 当日の進行、相談の受け答え、書類記入

## 4. 保育方針

### 〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0~2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れ、生活リズムを整える。</li> <li>・子どもの自我の発達を受け止め、安定した人間関係を築く。</li> </ul>
	下半期 0~1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な環境に興味や関心をもって関わり、様々な体験を積み重ねる。</li> <li>・発育に応じて、遊びの中で体を動かす機会を十分に確保し、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。</li> </ul>
幼児保育	上半期 3~5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢での大きな集団で過ごし、自分以外と多くの関わりを持つことで好奇心が育つ。</li> <li>・年長児が3歳児と共に生活する中で、優しく接すること、自分が知っていることを教えるなど年長児としての自覚をもつ。</li> </ul>
	下半期 2~5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢児で活動を行う中で、互いに刺激を受け合いながら自分達で課題を解決する力が身に付き、相手の気持ちに気付くことができる保育を行う。友だちとの間で様々な葛藤を経験しながら自分たちで約束やルールを作っていく保育を行う。</li> <li>・集団の中の自分という存在を受け止め、自分自身と他者の良いところを認められるようになる。</li> </ul>
保育参加	4~3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、希望する保護者に対し実施</li> <li>・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用</li> </ul>
意見・要望への対応	随時	・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用

運営委員会	年2回	6月23日と11月17日に実施予定
-------	-----	-------------------

## 〈2〉年間行事計画

- ・2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

## 〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	家庭との連携を図りながら、保育者・調理員など全職員がプロとしての専門性を活かしながら、共に食を営む力の基礎を作る。 家族や先生、友達と一緒に楽しい食事の時間にする。 食事にもマナーがある事を知らせる。
	実践予定内容	低年齢児の保護者向きに講習等を設け、食の大切さを理解してもらう。
2	計画・ねらい	自分たちで栽培し、調理したものを食べることで、食の楽しさ・大切さ、自然の恵み、命の大切さ、食の循環サイクルを知り、いろいろな食材に感謝の気持ちを持って食する。
	実践予定内容	畑やプランターでの栽培、クッキングだけでなく、図鑑などですぐに調べられるなどの環境を整える。 テラスで、堆肥作りに挑戦する。

## 〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回(6月・11月)
歯科検診	年1回(6月)
保健だより	月1回(25日)発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回(5日)
園児への保健指導・取組等	毎月の身体測定、手洗いうがい指導、歯磨き指導等
流行が予測される感染症	通年…新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 夏季…ヘルパンギーナ・手足口病・咽頭結膜炎 冬季…インフルエンザ・ウイルス性胃腸炎(ノロウイルスなど) 溶連菌感染症
発作・痙攣等の対応のための	エピペン…1名より預かり済み/事務所に保管

薬の預かり	
エピペン使用できるスタッフ	本日現在9名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については6月24日までに受講予定
AED使用できるスタッフ (AED設置施設のみ)	本日現在2名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については6月24日までに受講予定
その他保健に関する取組	主に5歳児を対象に性教育指導 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

### 〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	フロン点検(簡易)	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間

	利用者アンケート調査	年1回
--	------------	-----

## 〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	棚の上の整理整頓、清掃の他、子どもたちがいつでも気持ちよく生活できるようになっているか、自らが生活することを考えながら清潔な環境を整える。
	実践予定内容	週1回、全職員が自分の担当する室内の環境整備を行い、子どもたちが安全に生活できるか確認する。 全職員が直ぐに片づける習慣をつける。
2	計画・ねらい	玩具は発達状態に合わせたものを準備し、いつでも好きな遊び、好きな玩具が使える状態にしておく。 室内環境を都度見直す際、玩具の適正も見直す。
	実践予定内容	日々、早遅番による園内点検を行う。 一月内で数回ミーティングを行い、意見交換しながら室内環境を変えていく。
3	計画・ねらい	副園庭となっている蕨北町公園とそれ以外の公園の安全面、衛生面（ゴミやタバコの吸殻の始末）など、特に注意すると共に、散歩時も常に環境面に留意する。
	実践予定内容	戸外活動の際は、子どもたちが遊び始める前に、公園内のゴミ拾いを実施し、遊具などが壊れていないか等の確認を行う。 危険箇所がある場合は、ハザードマップを更新し、全職員に共有する。

## 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	全体を通して法人のマニュアルに従って行動する。過去の事例や予測される事故は職員全員周知の上、事故に発展することがないように注意喚起する。しかし、必要以上に危険回避をすることは、子どもの「乗り越える力」「生きる力」を損なうことにもなりかねないので、職員全員の総意のもと意識の統一を図る。
2	実践予定内容	安全管理係を中心に日頃より防犯に対する意識を高める。災害は突然に起こるものなので、日頃からシミュレーションを行い、避難訓練を有効に活用する。
3	実践予定内容	事故・怪我においては心身共に苦痛をおった子どもと保護者の気持ちに誠意を持って応えることが重要である。どんな小さな怪我でも保護者に伝え忘れないようにする。また、前日のどんな小さな怪我（発熱も含む）も登降園ボードに記入することにより、翌日の担当保育者が保護者及び子どもに声を掛け、状況を把握するようにする。
4	実践予定内容	防犯に対する訓練は1年に2回行っているとはいえ、日々の生活の中で常に意識することが重要である。散歩時における対応や園内における対応の仕方など会議で話し合い、対応の仕方を共有する。
5	実践予定内容	光化学スモッグについては、市役所の情報を素早く園内及び園外にいる職員に周知する。特に園外にいる職員に対しては、「素早く日陰に行く」「保育園に戻る」などの対応を考えるよう、日頃から注意する。また、園内に居る場合にも窓を閉めるなど、子ども達の健康状態に留意する。

新人研修	新人社員研修	スタッフ研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 入社時オリエンテーション</li> <li>■ 現場OJT研修</li> <li>■ 保育品質マニュアル研修 (事務研修・ケガケーススタディ研修含む)</li> <li>■ コンピテンシー研修</li> </ul> <p>保育スキル研修</p>  <p>←お迎え 対応研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新人社員研修 → 会場研修</li> <li>→ 系列園保育実地研修</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全社員研修 (年1回)</li> <li>■ 園内研修 (月1回以上)</li> <li>■ 保育スキル研修 (エリア別)</li> <li>■ リーダー養成研修 (9~2月)</li> <li>■ 業務改善研修 (月1回) (= 保育の質を上げる会議)</li> <li>■ 施設長勉強会 (月1回)</li> <li>■ デンマークインターンシップ (年1回)</li> <li>■ コンピテンシー自己採点 (月1回)</li> <li>■ 人権チェック (4月・10月)</li> <li>■ 外部研修</li> <li>■ 上級救命救急資格取得講習</li> </ul> <p>←避難訓練研修</p>

## 6. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉今年度方針・テーマ

次の世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するために、近隣の中学校や依頼のあった高校生の体験学習を積極的に受け入れる。また、保育養成校の実習の受け入れや地域の方のボランティアなども受け入れる。

1	実践予定内容	子ども達の生活の姿を全体的に捉え、乳幼児の実態、保育者の役割、保育の流れについて理解してもらう。
---	--------	--------------------------------------------------

## 7. スタッフ育成と研修計画

### 〈1〉2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 接遇研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、コンピテンシー内から選び、振り返りを行う。</li> <li>・毎月、子どものエピソードを1つ取り上げ、保育者が楽しんで出来る保育を目指す。</li> <li>・おもてなしマナーの習得。</li> <li>・正しい言葉遣い、やさしい日本語が使えるようになる。書き言葉の習得。</li> <li>・マニュアルに沿って「虐待の定義」を確認。</li> </ul>
5月24日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 地域交流活性化計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援を行う為の地域交流を活性化させるための話し合い。</li> </ul>

6月28日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 小学校接続計画	・小学校接続を踏まえて、乳幼児期に大切な育みたい力とは?何かを学ぶ。 ・小学校接続カリキュラムの重要性を再確認する。
7月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 危機管理	・活動時・食事だけでなく、保育者は常にアンテナを張っていなければならない。その為の方法を知る。 ・ハザードマップから読み取る。
8月23日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ SIDS命の尊さ	・午睡時間帯の保育者の行動を分析し、事故を起こさないためにはどのようにすれば良いのかを学ぶ。 ・5分毎のチェック・記録の徹底の意味を深堀していく。
9月27日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 室内環境	・室内環境の難しさとは? ・子どもの心に寄り添う室内環境作り。 ・コーナーとゾーンの違いを分かっているのか?
10月25日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ さくらさくらんぼリズム体操	・なぜリズム体操が良いのか?基礎知識の習得。
11月22日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 感染症対策	・感染症への対応と知識を学ぶ。 ・クラスターを起こさないための予防法。
12月27日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 子どもの心の育ち	・子どもの心の育ちには、大人の語り掛けが影響している? ・保育者の言葉掛けを学ぶ。
1月24日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修「10の姿から」 ③ 一年を振り返ってみて得たもの・事とは~ディスカッション	・個々で振り返りをし、次年度へ向けての計画を練る。
2月21日	18:00~21:00	① 策定会議1 ② 今年度の反省から次年度へ向けて	・今年度を振り返り、来年度に繋げていく。
3月2日	9:00~18:00	① 策定会議2	・来年度の行事などを策定する。

## 〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

## 〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デモンクインターソップ	希望するスタッフが応募											

## 〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

## 〈5〉スタッフ育成計画

・社会人としての基本的なマナー（接遇）、子ども、保護者、職員同士の言葉遣いの違いの学習・実践を行う。協働の意味を知り、自らコミュニケーションがとれるようにする。

子どもの発達理解や年齢別の保育に係る学習を行う。自主性とは何か、生きる力とは何か、20年後の子ども達に何を残してあげられるかを常に考え、保育計画を立てられるようになる。

園内研修のテーマ毎に、自園職員が講師として立つ。その為の知識を得る為、研鑽する。

## 8. 地域交流計画

### 〈1〉今年度方針・テーマ

法人理念における保育方針の「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」にある通り、園外に出掛け近隣住民や身近な人と様々な関わりを経験し、子ども達一人ひとりが地域に

愛される存在になるよう計画し実践する。

## 〈2〉具体的な地域交流計画

青空保育(保育園主催)	月1回 公園名:わらび公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	乳幼児の様子に合わせ、高齢者福祉施設や近隣住民との交流を企画し、日々の保育活動の中で積極的に交流を行う。 ・小中高生の職場体験や幅広い年齢層のボランティア受け入れを行う。
異年齢交流	主に3~5歳児は日常的に異年齢保育を行い、年少児と年長児の生活の中での関わり合いが密になるよう工夫する。 ・1~2歳児は子どもの様子に応じて異年齢で過ごせる機会を設け、様々な人との関わりが充実するよう配慮する。
地域拠点活動	地域親子に向けて、子育て支援として「自然学校・芸術学校・寺親屋・自然食堂」の開催、子育ての相談を行う。
銭湯でお風呂の日	月2回 〈3~5歳児〉

## 9. 小学校との連携の計画

### 〈1〉今年度方針・テーマ

近隣小学校と交流を図り、連携を進めていく。アプローチカリキュラムに則り、子どもの発達や情報交換をはじめ、子どもの姿を共有できるように働きかけていく。

### 〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を4月1日(月)より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
6月頃	蕨市立北小学校 1年	3名予定	授業参観(北小教室)	職員間交流
10月頃	蕨市立中央小学校 1年	10名予定	学校公開(中央小校庭)	子ども間交流
10月頃	蕨市立南小学校 1年	10名予定	学校公開(南小校庭)	子ども間交流

10月頃	蕨市立北小学校 1年	10名予定	学校公開(北小校庭)	子ども間交流
------	---------------	-------	------------	--------

## 10. 要支援児計画

### 〈1〉 個別支援計画の作成・見直し

・個別配慮を要する子ども達の支援は、個別計画を立て保護者と共有しながら子どもをみるようにする。  
 ・集団生活を送るにあたり、その子にとっての計画であるが、他の子たちも含めての育ち合いの視点を考える。その子が社会で生きていくために保育園で丁寧に関わることにより少しでも安心して生活ができるよう援助する。発達の違いというべきその子の能力の低い部分だけに焦点をあてて矯正するのではなく、能力の高い部分を引き出すように援助し、足りないものを補おうとする努力ではなく、伸びる部分を延ばすことにより、その他の部分の力に変えていく援助を考える。

### 〈2〉 毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：●名予定)

(4～3月に計12回開催予定 参加者：10名予定)

・園児全員の現在の発達経過報告、特に注意し、援助が必要な子どもの現在の状況と今後の対応について話し合い、援助の仕方の共有を行う。

### 〈3〉 進級引継、および、小学校への引継

・特に幼児クラスにおいては就学を見据えて必要に応じて関係機関との連携を図っていく。

## 11. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土)9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土)13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	隔週(土)10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎月1回 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土)7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名:わらび公園にて開催

## 1 2. 園運営の向上

### 〈1〉 福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

### 〈2〉 園による自己評価の実施

2024年9月1日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：9時00分

自己評価終了予定時刻：17時00分

自己評価実施予定者：全職員対象

### 〈3〉 利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

## 1 3. 3カ年計画の具体化

### 〈1〉 昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どろんこサポーターズの拡充を図り、行事を通して子育て支援の輪を広げていく。また、接遇マナーの習得は必須。とくに、外国籍の方への接し方も各々違うので、個々対応できるようにする。</li> <li>・日課を取り入れる事を保護者にも理解頂き、体験できる場を構築する。</li> <li>・職員一人ひとりの目標を明確化し、お互いが切磋琢磨しあって進捗を確認していく体制をとる。</li> <li>・保育の質向上へ向けての意識を高める。また、小学校接続アプローチカリキュラムに基づき、子どもにとって必要な体験を計画する。</li> <li>・コンポストでの堆肥作りを取り入れ、畑やプランター栽培へ繋げる。魚や肉、梅等を加工するなどの体験を多く取り入れ、子どもたちに食への興味を持たせる。</li> <li>・食や食の循環に興味を持てるような取り組みを調理士・栄養士だけでなく、保育士を巻き込んで考えていく。</li> </ul>
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日課の定着が出来てきた。今後の課題は、登園時間が遅い子どもに、どうやって出来る環境を作っていくか。</li> <li>・食への関心・興味を持ち、積極的に食べるようになってきた。今後の課題は、食の循環に興味を持ってもらう事。</li> <li>・10の姿を理解できる職員が出てきた。今後の課題は、子どもの発達を踏まえ、小学校接続を見据えた計画を立てて実行する事。</li> </ul>

## 〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根付いた子育て支援の拡充。</li> <li>・資質向上・専門性向上の為の学びの場の増加により、リーダー格の職員を増やす。</li> <li>・経験できる物的環境を提供。</li> <li>・食育活動を更に活発化させ、食の循環・命を頂く体験を多く行う。</li> </ul>
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や近隣の方に園を知ってもらい、子育て支援に繋げる。</li> <li>・接遇マナーの習得・向上を図る。とくに、外国籍の方とのコミュニケーションを構築する為の方法を探っていく。</li> <li>・職員一人一人が、職務内容に応じた専門性を高める為、研修の必要性を踏まえて、研修機会を確保し向上を図る。</li> <li>・日課や子どもたちにとって必要な環境を提供する事で、子どもにとって必要な体験が数多く出来るよう努める。</li> <li>・コンポストを稼働させ、畑(プランター)活動の充実を図る。</li> <li>・畑活動や堆肥作り、魚や肉の解体等の体験を通して、食の循環や食材に興味を持ち、食育に繋げる。</li> </ul>
2025年度	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域性を活かし、外国籍の方々との国際交流を積極的に行い外国籍保護者への支援充実を図る。</li> <li>・主任・リーダー格が主となり、職員の育成を図る。</li> <li>・残渣70%減を目標に、食育の深堀。</li> </ul>
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍の保護者・来園者・近隣の方等を招き、国際色豊かな行事を通して交流を深めるとともに、外国籍保護者を支援できる環境を整える。</li> <li>・質向上によりレベルアップした職員が主となり、新卒や若手の育成に取り組めるようにしていく。</li> <li>・「もったいないプロジェクト～いのちをいただく～」を起こし、子どもの食への興味を増幅させる。</li> </ul>
2026年度	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根差した保育園</li> <li>・働きやすい職場</li> <li>・食育活動の継続</li> </ul>
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援の基盤を定着させる。</li> <li>・職場内の環境を整備し、働きやすい職場を目指す。</li> <li>・子どもの「食べたい」を大切に、食育プロジェクトを遂行する。</li> </ul>

以上